

しゅげんどう  
**山伏（修験道）研修会のご案内**

修験道は、私達の祖先が抱いた大自然に対する畏敬の念から発生した古来の山岳信仰(神や先祖が宿る深山を崇拜)と、飛鳥時代に渡来した仏教(密教)が融合して発生した日本独特の宗教です。日本各地の霊山信仰と、伝来した仏教の教えがそれぞれ組み合わせられて様々な土着の祈祷法や信仰がなされてきましたが、修験道の開祖である役行者(えんのぎょうじゃ)がそれらを体系付け、神仏を一体とした独特の宗教へと発展していきました。

以来、1300余年に渡って全国的な拡がりとお充実をみてまいりましたが、明治政府の神仏分離政策により本来の姿をゆがめられ、神仏混合の修験寺院は神社や他仏教寺院へと姿を変えていきました。しかし、当山は本来の教えを守り続け、山形県内で唯一の京都聖護院を本山とする本山修験宗寺院として法灯を護持して参りました。

修験道とは在家仏教(山伏)にて、自らの修行によって人格を磨き、本来誰もが持っている仏性(ぶっしょう)を目覚めさせ、そして最大限に発揮し、世のため人のために尽くす事が本来の目的です。現代社会の一員としてそれぞれの職業に従事しながら、日々自己鍛錬し、自身に秘められた能力(仏性)を磨き上げる事に大きな意義があります。

山伏の一員として、この機会に自己をもう一度見つめ直し、一切の不安や迷いを払拭し、安らぎの境地で日々の生活が送れるよう、また、自分の持つ本来の能力を発揮できますよう、この山伏研修会への参加を御案内いたします。

合 掌

**言 己**

**1. 日時と主な内容 (予定)**

- ◎各期日とも 午後7:30~9:00
- ◎毎回、経典の読経・呼吸法(霊気吸収法)・山伏流座禅(床堅作法)を行います。

- ① 4月14日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅰ<修験道 其の一>
- ② 5月12日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅱ<修験道 其の二>
- ③ 6月16日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅲ<経典 其の一>
- ④ 7月14日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅳ<経典 其の二>
- ⑤ ? 8月18日 (木) ○七ヶ宿火祭の詳細打ち合わせ(参加希望者のみ)
- ⑥ ? 8月20日 (土) ○わらじで歩こう七ヶ宿 前夜祭「七ヶ宿火祭」厳修(東北修験会として出仕)
- ⑦ 8月下旬 (未定) ○出羽三山登拝修行(未定・希望者のみ) (詳細は後日)
- ⑧ 9月 8日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅴ<経典 其の三>
- ⑨ 10月 6日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅵ<経典 其の四>
- ⑩ 11月12日 (土) ○八方除焼納祭の詳細打ち合わせと練習(参加希望者のみ)
- ⑪ 11月19日 (土) ○八方除焼納祭の最終練習(参加希望者のみ)
- ⑫ 11月23日 (祝) ○八方除焼納祭厳修
- ⑬ 12月 8日 (木) ○読経・床堅作法・研修Ⅶ<経典 其の五>

**2. 参加範囲**

- ◎山伏や修験道に深く関心を持たれる方、大覚院所属山伏として従事したい方(人数に限定あり)  
(年齢・性別は問いません)

**3. 参加料**

- ◎はじめての参加の方は、研修費用(資料代等)として、初回参加時にお一人¥5,000(年間)をお納め下さい。
- ◎現在、出仕部(当山所属山伏)の方は必要ございません。

**4. 申込方法**

- 下記の申込書に必要事項をご記入の上、**4月14日**まで、大覚院寺務所にご持参又は郵送して下さい。  
なお、申込終了後であっても、随時参加申込みは受け付けております。

**5. 山伏出仕について (大覚院山伏として参加可能な行事)**

- ◎11月23日: 八方除焼納祭(大覚院)
- ◎8月20日前後: 七ヶ宿火祭(宮城県七ヶ宿町) 4月: 光明院火渡り(宮城県丸森町)
- 12月: 成就院八方除火祭(福島県郡山市)

**5. その他**

- ◎全研修(火祭の打ち合わせ会除く)を受講された方には、修了証を授与し、大覚院山伏(出仕部)として出仕される事を認証いたします。(はじめてこの研修会に参加され、今後、大覚院山伏として出仕希望の方)
- ◎申し込まれた方には、その都度ハガキにてご案内致します。
- ◎一定期間の研修終了及び国峰修行、採燈大護摩供出仕等の年限を経た方には、本山聖護院より正式な先達号が授与されます。

キリトリ

**山伏（修験道）研修会 申込書**

下記のとおり申し込みいたします。

〒	住 所 ・ 番 地	参加氏名 (ふりがな)	生年月日	電話番号

平成23年 月 日